

事務事業評価シート(事後評価)

| | | |
|----------------|---------------------|---------------------|
| 事業コード 5-3-5 | 事務事業名 自動車燃料費助成事業 | 所管部課 健康福祉部 障害福祉課 |
|----------------|---------------------|---------------------|

| | | | |
|---------|---|------|--|
| 事務事業の概要 | 事務事業の目的 | | 根拠法令等 |
| | 在宅心身障害者又はその同居の家族が所有し、運転する自動車等の燃料費の一部を助成することにより、在宅心身障害者等の日常生活における交通手段の確保及び経済的負担の軽減を図り、もって福祉の増進に寄与することを目的とする。 | | <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領 |
| | 事業内容・実施方法等／補助の概要:補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する | | |
| | 市単独事業として自動車燃料費の一部を助成する。燃料費領収書に基づく償還払いで年2回(6ヶ月分ごと)支給している。 【対象者】 ①身体障害者手帳1～4級で自ら自動車もしくは二輪車を運転する方 ②身体障害者手帳1～3級、愛の手帳1～3度、脳性まひ者(児)・進行性筋委縮症の方で、同居する家族が運転する自動車に同乗する方 【助成内容】 ①自動車 月額3,000円を上限 ※本人または同居する家族の所有する自家用車が対象 ②二輪車 月額1,500円を上限 ※支給対象外 所得基準額超過者、施設入所者。なお、タクシー料金助成との併給はできない。 (予算事業名:03.01.02.24 心身障害者自動車燃料費助成事業費(自動車燃料費助成費)) | | |
| 事業開始時期 | 合併前 | 実施形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 () |

| 項目 | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|---------------------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 事業費(A) | | 37,966 | 38,719 | 37,412 | 39,603 |
| 財源内訳 | 千円 | | | | |
| 国庫支出金・都支出金 | | | | | |
| 地方債 | | | | | |
| その他 () | | | | | |
| 一般財源 | | 37,966 | 38,719 | 37,412 | 39,603 |
| 所要人員(B) | 人 | 0.30 | 0.30 | 0.30 | 0.30 |
| 人件費(C)=平均給与×(B) | 千円 | 2,381 | 2,463 | 2,381 | 2,490 |
| 臨時職員賃金等(C') | 千円 | 77 | 117 | 163 | 181 |
| 総コスト(D)=(A)+(C)+(C') | 千円 | 40,424 | 41,299 | 39,956 | 42,274 |
| 単位当たりコスト(E)=(D)/ (受給者数) | 千円 | 32 | 32 | 32 | |

| 活動等指標 | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|---|-------|-------|--------|--------|--------|
| ① 受給者数 | 実績値 人 | 1,268 | 1,283 | 1,268 | |
| ② | 実績値 | | | | |
| 《指標の説明・数値変化の理由 など》 毎年、新規受給者は100～150人程度いるが、転出・死亡など喪失も同程度あり、受給者数(各年度末)としてはほぼ横ばいで推移している。 受給者の内訳は、身体障害者手帳所持者が85%、愛の手帳所持者が10%、重複所持者が5%程度で、本人運転と介助者運転はほぼ同程度の割合となっている。 | | | | | |
| 成果指標 | 単位 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
| 一次 支給額 | 目標値 | | | | |
| | 実績値 | 千円 | 37,675 | 38,396 | 37,011 |
| 二次 | 目標値 | | | | |
| | 実績値 | | | | |
| 《指標の説明・数値変化の理由 など》 受給者数がほぼ横ばいであり支給額も大きく増減はない。 | | | | | |

| | | | |
|-------|-------------------------------|---|--|
| 事業環境等 | 市民・関連団体等の意見(アンケート結果など) | 直近ではアンケートなどは行っていないが、過去に実施した計画策定時のアンケートでは利用したいサービスとして自動車燃料費助成・タクシー料金助成は上位の回答を得ている。 | |
| | 都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など) | <input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 | 26市のうち23市で同様の助成制度を実施している。 23市の平成27年4月1日における平均助成月額額は約2,600円で、障害の種類による移動の困難性に応じて対象者となる等級の範囲を設定している例があるなど対象要件が各市異なる部分もあるが、総合的に鑑みると上位である。 |
| | 代替・類似サービスの有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | 交通手段の確保及び経済的負担の軽減を図る目的のサービスとしてタクシー料金助成制度がある。また、車いすでないといと外出が困難な方や手帳所持者を対象とするNPO法人等による移送サービスがある。 |

【一次評価】

| 検証項目 | | ランク | 一次評価 | ○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等 |
|------|-----------------|-----|--|---|
| A | 事業の優先度(緊急性) | 2 | <input type="checkbox"/> 拡充 | <p>在宅の心身障害者の移動を支援するサービスとして広く定着しており、過去のアンケート調査からみても、利用者は多く市民ニーズが高い事業である。</p> <p>合併以前から実施している事業で、現在は半年ごとに燃料費領収書原本提出による償還払いを実施しているが、この間、対象者要件や助成方法等の見直しを行ってきており、助成額・対象者範囲ともに他市と比較しても上位である。今後、より必要な人にサービスを届けられるよう、他市を参考に利用者の利便性と事務効率の改善を図れる方法がないか、調査・検討を進める必要があると考えている。</p> <p>NPO法人等による障害を有する方への移送サービスもあるが、会員登録や台数に限りがあることなどの環境面から、希望日時に必ずしも利用できる状況ではない。交通手段の確保及び経済的負担の軽減のため、燃料費助成は今後も継続して市が実施する必要がある。</p> |
| | 事業の必要性 | 2 | <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 | |
| | 事業主体の妥当性 | 2 | <input type="checkbox"/> 改善・見直し | |
| B | 直接のサービスの相手方の適切さ | 2 | <input type="checkbox"/> 抜本的見直し | |
| | 事業内容等の適切さ | 2 | <input type="checkbox"/> 休止 | |
| | 受益者負担の適切さ | 2 | <input type="checkbox"/> 廃止 | |
| C | 市民ニーズの把握 | 2 | <input type="checkbox"/> 廃止 | |

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

| 検証項目 | | ランク | 二次評価 | ○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等 |
|------|-----------------|-----|--|--|
| A | 事業の優先度(緊急性) | 2 | <input type="checkbox"/> 拡充 | <p>本事業は、タクシー料金助成事業との選択により、在宅の心身障害者の交通手段の確保及び経済的負担の軽減を図り、福祉の増進に寄与する事業として定着しており、社会参画にも寄与している。</p> <p>しかしながら、合併以来サービス水準の見直しが行われておらず、助成額は多摩26市の平均をやや上回り、手帳の等級を基準とした対象範囲は上位となっている。</p> <p>そのため、すでに多くの団体で取り入れている障害の区分に応じた等級設定や、公共交通機関の定める旅客運賃の割引基準といった事例を参考に、助成水準とあわせて検証・見直しが必要である。</p> <p>その際には、タクシー料金助成事業との棲み分けとともに、地域活動支援事業の一つとして実施している移動支援利用や、ハンディキャブ・けやき号の運行事業など、心身障害者の外出支援サービス全体のあり方も踏まえて検証されたい。</p> |
| | 事業の必要性 | 2 | <input type="checkbox"/> 継続実施 | |
| | 事業主体の妥当性 | 2 | <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し | |
| B | 直接のサービスの相手方の適切さ | 2 | <input type="checkbox"/> 抜本的見直し | |
| | 事業内容等の適切さ | 1 | <input type="checkbox"/> 休止 | |
| | 受益者負担の適切さ | 2 | <input type="checkbox"/> 廃止 | |
| C | 市民ニーズの把握 | 2 | <input type="checkbox"/> 廃止 | |

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【外部評価】

| 外部評価 | 評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等 |
|--|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 | |

【行革本部評価】

| 行革本部評価 | 評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等 |
|--|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 | |

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

| | |
|---------------|--|
| 改善の方向性・スケジュール | |
|---------------|--|